



ほとけの子
HOTOKE no KO SERIES

No.1



聖徳太子

しょうとく

とく

たい

し

聖徳太子はどんな人？

親鸞聖人は、聖徳太子を「**和国の教主**」と敬ってられます。

● 誕生

今から1400年以上前に用明天皇の皇子として誕生し、
厩戸皇子とも呼ばれました。(一説には574～622年)



● 摂政～新しい国づくり

20歳で推古天皇の政治をたすける
「摂政」という役職に就き、

仏教による平和な国づくりを進めました。



- 「冠位十二階」を定めた(603年)
- 「十七条憲法」をつくった(604年)
- 「遣隋使」を派遣した(607年)

● 仏教を抛り所に

聖徳太子は、お坊さんではありませんが、

仏教を篤く信仰しました。

- 四天王寺や法隆寺など、
多くのお寺を建てた。
- 経典の意義や内容を解説した
「三経義疏」をあらわした。





浄土真宗のお寺の本堂には聖徳太子がかけられています。それは、
親鸞聖人が太子を、人びとによりそい、迷いから救う観音さまの
ように導いてくれる、大切な方と尊敬されていたからです。

みなさんは、自分ひとりでは解決できない悩みごとを抱えたこと
はありませんか。そんなとき、どんなことがあっても、ずっと自分
によりそってくれる人がいたら、どんなに勇気がわくことでしょう。
親鸞聖人にとって太子は、まさにそういう方だったのです。

親鸞聖人は大きな悩みごとを抱え、自分の進む道に迷った時、
太子が建てられたと伝わるお寺へ何度も足を運び、太子に相談
するかのよう問題と向き合い、ついに阿弥陀さまの「こころ」に
たずね続けていく道を選び取ることができたのです。

この阿弥陀さまの「こころ」とは、だれのことも「良い・悪い」
「すき・きらい」とえらんだり、きらったり、けっして見すてること
のない、いつでも私によりそってくださるお念仏の「こころ」です。

いつの時代も、どんな人にも不安や苦しみがあります。太子は、
その中を生きる人びとを助けたいと願い仏教を広め、争い、傷つけ
あうことのない国をつくろうと生涯をつくされました。そのよ
うな聖徳太子がいらっしゃったからこそ、親鸞聖人は阿弥陀さま
の「こころ」にであい、阿弥陀さまの呼びかけによって、歩み出すこ
とができたのです。

—〈慶讃テーマ〉—

宗祖親鸞聖人
御誕生
立教開宗
580
800
真宗大谷派（大本願寺）

南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

しょう とく たい し
聖徳太子

